

委 会 議 都

「築地を守る」具体化を

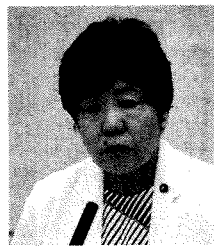
あぜ上氏 “都の姿勢あいまい”

日本共産党の、あぜ上三和子東京都議は25日の都議会経済・港湾委員会で、築地市場の豊洲移転問題に関して小池百合子知事が6月に表明した「基本方針」について質問し、小池知事が約束じた

「築地を守る」の確実な実行を求めました。あぜ上氏は「基本方針」が「築地を守る・豊洲を活(い)かす」として、築地に市場の機能を残すことを示したことは「重要なこと」と評価した上で、

「問題はその具体化だ」とただしました。都中央卸売市場の吉村恵一企画担当部長は「ステップを踏みながら、どのような機能を持たせるか検討する」と答弁。あぜ上氏は「極めてあいまいだ」

質問する、あぜ上三和子都議。25日、都議会経済・港湾委



と都の姿勢を批判しました。民間主導の築地再開発では市場の火は消えたと指摘。築地市場の仲卸業者でつくる「女将(おかみ)さん

会」から、もう一度立ち止まって考えることを求める要請が都に寄せられていることも示し、築地を守るためには、市場業者や関係者の納得と合意が大前提だと強調しました。あぜ上氏はさらに、豊洲移転後に、2020年東京五輪のため築地市場を解体し、更地にして輸送拠点として一時使用する計画を批

判。働く人と建物が築地ブランドを形成しており、歴史的価値が高く評価される築地市場の建物を壊せば、「元も子もなくなる」と迫りました。あぜ上氏は、8月臨時都議会に移転強行のための補正予算案を提出しないよう求めました。また、小池知事の出席の下、徹底審議が必要と訴えました。